

【令和4年度】 一般 会計決算の概要

図 財政課 ☎049-257-5163

財政健全化の状況

本市独自基準(財政運営判断指標)

「富士見市健全な財政運営に関する条例」に基づく財政運営判断指標は、下表のとおりです。

財政運営判断指標	令和3年度 決算実績	令和4年度 決算実績	目標値
財政力指数(※1)	0.821	0.804	0.860
経常収支比率(※2)	87.3%	90.5%	90.0%以下
財政調整基金比率(※3)	20.0%	23.9%	15.0%以上
地方債残高比率(※4)	109%	113%	120%以下
債務償還可能年限(※5)	3.2年	3.8年	4.5年以下

- (※1) 財政基盤の強さ。指数が大きいほど財政力が強い
- (※2) 財政構造の弾力性。比率が低いほど弾力性が高い
- (※3) 標準的な1年間の収入(標準財政規模)に対する財政調整基金残高の割合。比率が高いほど貯金が多い
- (※4) 標準財政規模に対する地方債残高の割合。比率が低いほど残高が小さい
- (※5) 負債総額が返済可能な規模になっているかを表す。年数が小さいほど負債が小さい

国基準(健全化判断比率)

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率は、すべての指標で健全な数値を維持しています。

健全化判断比率	令和4年度 決算実績	早期健全化 基準値
実質赤字比率(※1)	-	12.32%以下
連結実質赤字比率(※2)	-	17.32%以下
実質公債費比率(※3)	2.5%	25.0%以下
将来負担比率(※4)	-	350.0%以下

- (※1) 標準財政規模に対する一般会計等(一般会計、鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計、鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計、公共用地先行取得事業特別会計)の実質赤字額の割合。赤字ではない場合は「-」と表記
- (※2) 標準財政規模に対する市のすべての会計の実質赤字額の割合。赤字ではない場合は「-」と表記
- (※3) 標準財政規模に対する一般会計等で負担する借入金の償還金等の割合。比率が小さいほど負債が小さい
- (※4) 標準財政規模に対する一般会計等で将来負担する負債の割合。充当可能財源が将来負担額を上回る場合は「-」と表記

債務と貯金の状況

市の債務
(市の全会計の債務残高) **376億円**
(前年度比+47億円)

市の貯金
(財政調整基金の残高) **52.2億円**
(前年度比+7.5億円)

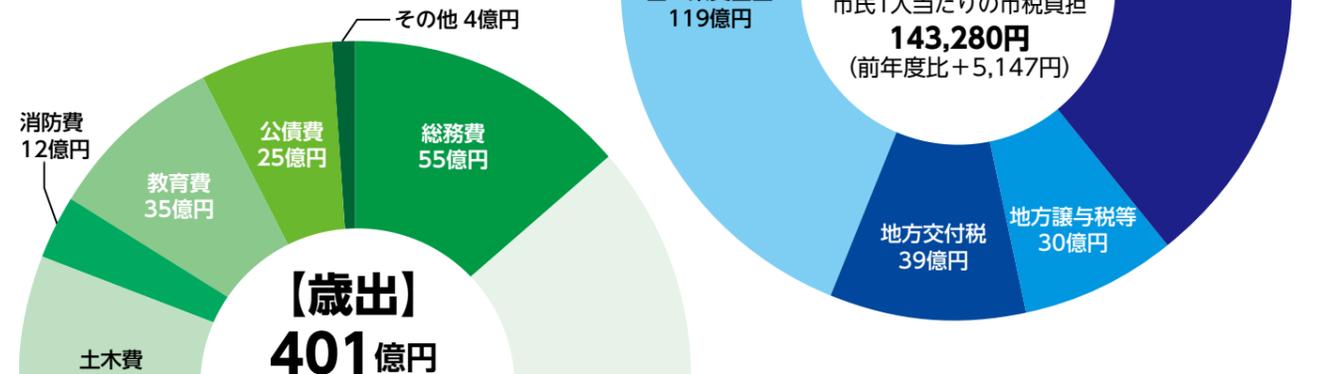


令和4年度の歳入・歳出

歳入(収入)は前年度と比べて9億6,053万2,353円増の411億3,849万91円、歳出(支出)は前年度と比べて22億5,339万4,259円増の400億5,996万2,879円となりました。翌年度に繰り越す財源を除いた実質収支は、8億8,822万5,562円の黒字となりました。

歳入(収入)の主な特徴

- 市税収入は、個人市民税の増などにより、前年度に比べ6.2億円の増
- 令和3年度の実質収支の伸びなどにより、前年度からの繰越金が前年度に比べ8.4億円の増
- 国支出金は、子育て世帯や住民税非課税世帯等臨時特別給付金に係る補助金の減などにより、前年度に比べ13.5億円の減



歳出(支出)の主な特徴

- 総務費は、公共施設整備基金への積立の増などにより、前年度に比べ12.8億円の増
- 民生費は、子育て世帯や住民税非課税世帯等臨時特別給付金の減などにより、前年度に比べ5.9億円の減
- 土木費は、びん沼自然公園整備工事費や幹線道路整備事業費(みずほ台駅東通線などの用地取得)の増などにより、前年度に比べ16.2億円の増

地方消費税交付金(社会保障財源化分)の使いみち

地方消費税交付金のうち社会保障財源化分の14億1,582万9千円は、次の経費に使用しました。

- ・社会福祉関係(子育て、高齢者福祉など) 8億3,781万4千円
- ・社会保険関係(国民健康保険、介護保険など) 4億9,804万8千円
- ・保健衛生関係(疾病予防、医療体制確保など) 7,996万7千円



市制施行50周年記念花火大会

活気と賑わいにつながる取組み

- 市民緑地「御庵」の用地取得・古民家等現況調査
▶2億7,118万円
- 湧水とみどりのネットワーク整備
▶130万円
- 市制施行50周年記念事業の実施
▶7,904万円



市制施行50周年記念事業
FUJIMI☆クラフトビア
フェスタ

新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策への取組み

- 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の実施
▶4億2,870万円
- ひとり親世帯や子育て世帯への給付金の支給
▶1億5,845万円
- 生活困窮者への自立支援金の支給
▶6,866万円
- 非課税世帯などへの給付金の支給(物価高騰に対する支援含む)
▶11億1,152万円
- 避難所の感染症対策物品などの購入
▶1,451万円
- 公共施設への公衆無線LANの導入
▶1億3,887万円
- 保育施設などへの感染対策費用の補助
▶907万円
- 民間保育所などの光熱費高騰に対する支援
▶843万円
- 介護保険サービス事業所や障害福祉サービス事業所の光熱費高騰に対する支援
▶2,813万円
- 障がい者施設で製造した菓子などの購入や壺花の配送、設置など
▶930万円
- 自宅療養者および濃厚接触者に対する支援品の支給
▶1,605万円
- 水道料金の基本料金の免除
▶3億5,620万円
- 市内中小企業者などへの支援
▶5,491万円
- 農業生産資材の価格高騰に対する支援
▶1,230万円
- GIGAスクール構想のための通信環境の整備やICT支援員の増員
▶7,398万円
- 学校給食費の無償化
▶1億8,635万円

びん沼自然公園の整備 (リニューアルオープン)

- 公園管理施設、複合遊具・展望台、パークゴルフ場などの整備
▶8億8,500万円



びん沼自然公園 複合遊具・展望台

第6次基本構想・第1期基本計画に基づく取組み

- 新庁舎整備の推進
▶5億1,389万円
- 放課後児童クラブの増築
▶8,886万円
- 保育施設整備工事への補助
▶1億5,817万円
- 中小企業者への支援
▶719万円
- 農業者などへのチャレンジ支援事業補助の充実
▶473万円
- 針ヶ谷中央公園の改修
▶1,963万円
- 鶴瀬駅東口駅前広場整備の推進
▶3億3,767万円



南畑第2放課後児童クラブ

幼保連携型認定こども園 谷津幼稚園

令和4年度に 取り組んだ 主な事業

令和4年度は、第6次基本構想・第1期基本計画で理想の“未来”として掲げる「充実した日々」を目指した取組みを着実に進めるため、誰もが自分らしく笑顔で生活を送ることができる取組み、市民の生命と生活を守る取組み、デジタル社会へ向けた取組み、活気と賑わいにつながる取組みなどを実施しました。

また、令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を積極的に講じ、物価高騰対策にも取り組んだほか、びん沼自然公園の整備に取り組みました。

誰もが自分らしく笑顔で生活を送ることができる取組み

- 再生可能エネルギーの活用への補助
▶1,442万円
- 眼科検診費用の助成
▶482万円
- 小学校プール開放の実施
▶501万円

デジタル社会へ向けた取組み

- 行政手続きのオンライン化の推進
▶3,422万円
- キャッシュレス決済の拡充
▶89万円
- 学校給食費の公会計化に向けたシステムの導入
▶1,146万円

市民の生命と生活を守る取組み

- 防災訓練の実施
▶12万円
- 防災公園の整備
▶615万円
- 空家の実態調査の実施
▶649万円
- 小中学校体育館の空調設備の整備
▶2億7,432万円



勝瀬こぼと保育園防災訓練